

日本大学鶴ヶ丘高等学校同窓会誌

Izumi

2013年 4月



会報誌の発送方法が変わります！



2年間ですべての同窓生に会報誌をお届けするために、隔年発送の方式を採用しました。同窓生には原則として隔年で会報誌が届きます。

下記の例をご覧ください。

例 1) 1982年に卒業した方…偶数年に発送します。

例 2) 2003年に卒業した方…奇数年に発送します。

今年は2013年なので、卒業年が奇数の同窓生に発送します。(例 2)

下記の同窓生には、奇数年偶数年かかわらずに毎年会報誌を発送します。

- ・卒業して5年以内の同窓生
- ・維持会費を納入していただいた方
- ・総会や懇親会などのイベントに参加していただいた方
- ・同窓会へのボランティア協力など、同窓会で必要と判断した方

会報誌をご希望の方は、2ページの連絡先までご連絡をお願いいたします。

総会 / 懇親会のお知らせ 今回は昭和43年同期会を同時開催します

日ごろは同窓会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本年も下記の日程で、同窓会総会と懇親会を開催します。本年は初の試みとして”Home coming day”を開催します。日本大学鶴ヶ丘高等学創設以来はじめて、昨年4月より校長に卒業生（昭和43年卒業）の村松記久明先生（M組）が就任されました。この機会に今回は昭和43年の同期会を同時開催します。

皆様ご多用のおり誠に恐縮ではございますが、ご出席を賜われますようご案内申し上げます。

開催日時：2013年6月1日（土）

学校見学会開始 12:40～（集合 12:30～）

同窓会総会開会 14:30～

懇親会開宴 15:30～（受付 15:00～）

（昭和43年同期会の同時開催）

開催場所：東京メインダイニング（シダックスビレッジ内）

電話番号 03-5428-5031

渋谷区神南 1-12-13

アクセス：JR山手・埼京線、東急東横線・田園都市線、京王井の頭線、
東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線渋谷駅 下車北口より徒歩6分

会費：5,000円（学生3,000円）

昭和43年卒業生は「同期会開催のお知らせ」をご参照ください。

（お願い）会報誌と総会懇親会のお知らせが届いていない同窓生もいます。（卒業年が偶数の方）

ぜひ、お近くの同窓生にお声がけください。ご連絡いただければ会報誌を発送します。

当日参加予定の先生方は下記のWebページに逐次掲載する予定です。ぜひご覧ください。

<http://www.ntdosokai.org/html/2013party.html>

日本大学鶴ヶ丘高等学校同窓会

○総会・懇親会のお知らせ

◆寄稿「天翔る母校と共に」

日本大学鶴ヶ丘高等学校長

村松記久明

◆インタビュー「日本大学で活躍する同窓生」

日本大学法人顧問

徳山龍明

◆インタビュー「社会に貢献する同窓生」

警視庁組織犯罪対策部長

頼本和也

○同窓会って何だ？

～日本大学鶴ヶ丘高等学校同窓会活動紹介～

◆FOCUS「卒業生インタビュー」

田村輝美・武内雅道

○維持会費のお願い

○寄付のお願い

○思い出の品募集

◆SPOT「在校生座談会」

吹奏楽部

◆卒業生のお店探訪

《横浜「Hysteric」》

2013年号表紙
「正門から校舎を臨む」

貴方のご意見、 お聞かせください。

同窓会誌『IzumI』では、より楽しんでいただくために今後の感想や次号以降に取り上げてほしい内容などのご意見を募集しています。お気軽に下記住所、またはメールアドレスまでお送りください。たくさんのご意見、ご感想、心よりお待ちしております。

住 所：〒168-0063
東京都杉並区和泉 2-26-12
日本大学鶴ヶ丘高等学校 同窓会事務局
メールアドレス：tsurugaoka@ntdosokai.org

同窓会情報

- ・ 公式ホームページ <http://www.ntdosokai.org/>
- ・ Facebook ページ <http://www.facebook.com/NTH.Dousokai>
- ・ 維持会費、寄付の振込先
銀 行 ゆうちょ銀行（郵便局）
口座名義 日本大学鶴ヶ丘高等学校同窓会
口座番号 00150-4-613083



公式ページ



Facebook ページ



▲▲ 今年完成した総合グラウンド

グラウンドが人工芝となったほか、付帯設備の充実した
研修館も新築された。

▲ 現在の母校（2012年撮影）

村松先生の在学時から正門の位置が変更されただけ
でなく、様々な手が加えられている。



母校

■ 2012年同窓会総会でのご挨拶の様子

村松先生は昨年、歴代初の母校卒業生の校長（昭和43（1968）年卒）

が参加し、盛会となりました。時の経つのも忘れ、学生時代に戻った気分です。昔話に花を咲かせていたようです。

年齢を重ねる毎にどうしても社会的責任が増し、なかなか同窓会への出席もままならなくなりました。しかしながら卒業後、歳月を経るほどに母校への懐かしさが増す気がいたします。

ぜひ、皆様も同期の仲間との旧交を温めると同時に、年齢を越えた新たなご交情を多くの同窓生と結んでいただければ、こんな嬉しいことはありません。

20年後の日本大学鶴ヶ丘高等学校を見据えて

母校の本館もすでに築50有余年を経た建物の老朽化が始まり、20年後には全ての校舎の建て替えをしなければならぬ時期を迎えます。同時に本校80周年を迎える時期でもあり、現在以上に充実した学舎の建設に寄与して参ります。

同窓生の皆様におかれましても母校への更なるご協力ご支援をお願い申し上げます。また、併せて在校生そして母校を末永く見守っていただければ、同窓の一人として幸いです。

天翔る

と共に

校長 村松記久明

母校と同窓会

同窓会事務局より、私の高校時代すなわち鶴ヶ丘時代の思い出を本誌へ寄稿していただきたいとお話しをいただきました。大過なく3年間の高校生活を過ごしていた自分には大役と恐縮したのですが、今回は私の思い出をお話するのではなく、日本大学鶴ヶ丘高等学校の現況や、同窓生がどれほど強い絆で結ばれているかをご紹介します。

母校では都内をはじめ近隣の多くの中学校から期待され、昨年と同様に推薦希望者が多く集まりました。また、卒業生の進学率は合計95%超という好成績で、日本大学はもちろんのこと国公立難関私大などにも進学しています。

部活動においては多くの運動部（剣道部・アメリカンフットボール部・スキー部・空手道部など）が。文化部では放送部などが関東大会・全国大会出場を果たす快挙を成し遂げております。

後輩達の活躍に、私もまた昔に戻ったように感じ胸が熱くなりました。

ところで、同窓とは不思議なもので、初対面の間柄であっても母校を介して百年の知己となることも珍しいことではありません。先日の新年会には、一期生の先輩から卒業して間もない同窓生まで

となった。

—先生の仕事をお聞かせください。

日本大学の法人顧問を務めています。現職のときは生物資源科学部でしたので、多少なりとも日本大学にお役に立ちたいと思っています。日常の仕事は行事に出席したり、役員の先生方や特に本部の教職員の方とお話ししたりすることです。

—当時の鶴ヶ丘はどのような学校でしたでしょうか。

当時の校舎は今にも倒れそうな木造の校舎でした。グラウンドには恵まれていました。校舎が古いから苦になるということはありませんでした。教育熱心な先生方が多く、必死になって教育していたことがよく、講義がおもしろかったということが記憶にあります。その後、設備が良くなり理科系の先生の教員室（準備室）や実験室も造られました。

—研究職に進んだきっかけを教えてください。

実は日本大学を卒業後、栃木県の食品会社に就職しました。一年半くらい経った頃、研究室の指導教授であった浅野教授から戻ってこないかと話がありました。もちろん、食品会社の仕事もおもしろかったのですが、東京の自宅から通勤

できるのであればこれほど良いことはないと思いました。ただ、教員になる自信はほとんどありませんでした。浅野先生にがんばれば大丈夫だと言われまして、それではやってみようかと、卒業二年目から現在の生命化学科の副手で戻りました。当時は、大学院を修了していませんとすぐに助手にはなれませんでした。この場合は企業での研究歴が認められ一年で助手になりました。

—教員時代の仕事をお聞かせください。

助手時代は学生実験の準備です。教授と助手、実験助手で準備をしていました。微生物が専門でしたが、専門の実験準備だけでなく、学科のすべての実験のお手伝いをしていました。あとから思うと幅広く実験の準備と指導をしたことから、いろいろなことがわかって良かったと思います。

専任講師からは一般化学の講義を他の学科で教えていました。それ以外は、研究室の学生の研究指導（卒業論文）や就職の面倒がありました。助手時代は一週間のうち3日か4日は泊まって実験をすることが当たり前でした。

—仕事のやりがいを教えてください。

土壌微生物で重要な硝化細菌の研究が

メインでした。硝化細菌は培養が難しく、他の教授に「こんな増えの悪いバクテリアを研究しているといつまでも学位論文が書けないよ」と言われました。それでも誰もやらない希少価値のある研究だったので研究意欲も湧くし、地味な研究だけれども重要なバクテリアなので、将来は注目されるだろうと思っていました。のちに環境微生物が重視されるようになり、さらにやりがいが出てきたところもありますね。この環境微生物の話は鶴ヶ丘高校の生徒達に講演したことがあります。

—日本大学に就職するためにはどうしたら良いのでしょうか。

私立大学は教員と職員がうまくバランスがとれ、教学と経営がマッチしていることが必要です。卒業生が日本大学の重要なポジションにいて学生の教育、研究に携わっているということは、鶴ヶ丘の卒業生としての誇りであり、とても嬉しく思います。

教職員で残るためには大学在学中もトップクラスの成績でないと難しいと思います。教員の場合、特に大学では論文や学会発表などの研究業績、研究費の取得など、業績を上げていく必要があります。また、そのような教員を支える優秀

な職員が必要です。

—母校に期待されることは。

日本大学の付属高校には初年次教育に熱心な先生が多くいます。「高大連携」と言われていますが、将来は幼稚園から小学校、中学、高校、大学と連携して行く方向になっています。そこがうまくつながるような付属高校での教育が必要です。文武両道の、バランスのとれた人間形成を築いてほしいと思います。

—同窓生や同窓会への期待をお聞かせください。

私立の高校や大学の発展はいかに多くの卒業生が結束して母校を盛り上げていくにかかっていると思います。近年は18歳人口が少なくなり、特に私立学校は厳しくなっています。いかにして優秀な生徒に志願してもらおうか、高校も入試に関しては厳しい状況だと思っています。同窓生がどのようにサポートすべきか、何をしたら良いのかを先生方と話し合える場を作ってもらいたいと思います。このようなことを考える場が同窓会ではないかと思っています。

—本日は誠にありがとうございました。

多少なりとも 日本大学に お役に立ちたい

日本大学の教職員のなかには多くの鶴ヶ丘高校の卒業生が活躍しています。その頂点でもある日本大学本部で顧問の要職にある徳山先生を訪ねました。鶴ヶ丘時代の話や同窓生への期待など、示唆に富むメッセージです。

徳山先生の経歴

日本大学鶴ヶ丘高等学校 昭和34年卒業

日本大学農獣医学部（現生物資源科学部） 昭和38年卒業

日本大学農獣医学部（現生物資源科学部） 昭和40年教員

日本大学生物資源科学部 学部長 平成20年8月就任

日本大学 法人顧問 平成22年11月就任 現在に至る



日本大学 法人顧問 農学博士 同窓会相談役

徳山龍明さん

Tatsuaki TOKUYAMA

—早速ですが在校当時の鶴高はどんな感じだったのでしょうか。

先生と生徒の距離が近かったですね。非常にアットホームといえますか話しやすい先生方がたくさんいらっしゃいます。担任は数学の中村経彦先生でした。当時まだ独身でいらしたものですから何となく兄貴という感じでした。くだらない話も先生方としました。日下先生とも、まだ鶴高に入らたての日下先生だったので色々話をしました。

私がなぜ鶴高に入ったかというと学校案内パンフレットね、あれで男女共学に懂れて、あのパンフレットの最初の見開きのところに男女の生徒が中庭の芝生で語らっている。その写真に懂れて入ってみたら実は女子は当時極めて少なく、三年間一度も女子のいるクラスに入ったことがない。あの頃は、ほんとに13クラスの内(共学は)2クラスしかありませんでしたから。これは裏切られた!やられたと(笑)

—なぜ警察官という職業を選ばれたのですか。

私の父親も警視庁の警察官だったんです。さらに私が就職する時には私の兄も既に警視庁に入っていたんですね。そういう環境で育ったというのもあるんです

けれども、学生の頃、色んなアルバイトを経験して何となく今ひとつ満足感が無いというか、充足感がないと感じていました。そんな中で、やっぱり警察官というのは人のため、社会に役に立つ仕事であり、なりたいたいと思いました。

—先輩の仕事のやりがいを教えてください。

警視庁という日本の警察を代表する組織でありますし、人の安全安心を守るという仕事ですから、非常に厳しい仕事ではあるんですけども、それだけにやりがいがありますし、また、誇りにも感じます。鶴高出身者の中で警察官になりました。警察職員になりたいという人がいれば、ぜひ警視庁に入ってもらいたいなと思っております。

—鶴櫻会とはどのような会ですか。

警視庁の中の鶴高出身者で作っている会なんです。鶴櫻の「かく」は「鶴」と書きまして、「おう」は旧字の「櫻」を使っているんですけども、警視庁が桜田門にあるということから、鶴と櫻で鶴櫻会と名づけています。

立ち上げたきっかけなんです、警視庁には四六、〇〇〇名もの職員がいて、東京あるいは近郊出身者が多いんです。

もちろん他府県出身者も大勢いますけど、彼らにはそれぞれの県人会というのがあって、ところが東京の人にはそんな集まりが無い。そんな中、鶴高出身者が一三〇名もいるのだったら高校同窓会みたいなものを立ち上げようじゃないかと平成22年から始めたんです。これからも多くの先輩が入ってくると思いますが、警視庁の素晴らしさを伝えると同時に鶴高出身の絆を大切にしてお互い先輩後輩の立場から助け合ってもらいたいと期待しています。

—鶴高や同窓生への思いと期待を聞かせてください。

いい伝統は昔から変わらずに残っているような感じはしますね。何ていいますか大らかさっていいですか、自由闊達と残っている。これを大事にしてほしいなと思います。また、卒業してもその仲間というものを忘れないで、それぞれの道を歩んで欲しいと思いますし、いつでも鶴高の出身だという誇りを持って歩んで欲しいなと思います。

—本日はお忙しいところ貴重なお時間をありがとうございました。

新たな鶴櫻会員にも伺いました。

高校を卒業して8年、母校と疎遠になっていた私を再び繋いでくれたのは『鶴櫻会』でした。

現在、私は警視庁の一般職員として勤務しています。警視庁には鶴ヶ丘高校のOB、OGの方が想像以上に多くいらっしゃいました。そして先輩方が創ってくださったOB会こそがこの『鶴櫻会』でした。ここでは様々な分野で活躍する先輩方とお話ができ、若輩者の私としてはとても勉強になり、ありがたく、また心強く感じています。

この会を通じて改めて、やっぱり母校はいいな、鶴ヶ丘高校の卒業でよかったなあと実感しています。



警視庁広報課 荒井洋美さん(平成17年卒)

首都東京の 安全・安心を 守り続ける

一、三〇〇万都民の安全・安心を守る警視庁。

その中枢である組織犯罪対策部長の要職に頼本和也さんが就任されました。

また、氏は鶴桜会（かくおうかい）という警視庁内同窓会を創り母校卒業生同士の親睦を図ると同時に初代会長も務められています。

今回、警視庁に氏を訪ね高校時代の思い出や警察の仕事の話などを伺いました。

日本大学鶴ヶ丘高等学校 昭和47年卒業

日本大学法学部 昭和51年卒業



警視庁組織犯罪対策部長 警視長

頼本和也さん

Kazuya YORIMOTO

日本大学鶴ヶ丘高

同窓会

さまざまな世代が入り混じっているからこそ、同窓会はおもしろいですよね。



Eisuke Abe

昭和 55 年卒業
会長 **阿部 栄介**

HPの運営



Daichi ONOZAKI

平成 22 年卒業
副書記 **小野崎 大地**

同窓会のホームページでは当会の活動報告やお知らせ、部活動の大会実績なども掲載しています。また、電子版会報誌の閲覧も可能です。今後さらにページを充実させていきますのでぜひご覧ください。
<http://ntdosokai.org/>



Takako TANAKA

昭和 57 年卒業
副会計 **田中 貴子**

名簿の管理



同窓会では卒業生の名簿を管理しています。
クラス会や同期会の開催を企画される際にはお気軽にご相談ください。名簿を活用し、多くの同窓生にお知らせをお届けすることも可能です。開催の一助になること間違いありません。

等荷村同窓会

「同窓会？何それ？」「クラス会のこと？」ナンナン。
 日本大学鶴ヶ丘高等学校同窓会は30,000名を超える卒業生の皆さんの
 相互の親睦を図り、母校の発展に協力しようという、ステキな組織です。
 今回は主な5つの事業を、同窓会役員の皆さんに紹介してもらいました。

総会 懇親会



Taisuke NAKAMURA

副書記

平成 18 年卒業
中村 泰輔

総会は毎年6月に実施しています。会計報告や各議題の協議採決など、同窓会活動の根幹となる会合です。また、同日に開催の懇親会では世代を超えた同窓生同士も交流しています。同窓生はどなたでもご来場いただけますので、皆様のご参加をお待ちしています。



会報誌 制作



Mika NAKAMURA

副書記

平成 20 年卒業
中村 実加

同窓会では年に一度、会報誌「Izumi」を発刊しています。各界で活躍されている同窓生や、若さあふれる在校生の特集。また、同窓生のお店紹介など、老若男女を問わず幅広い世代に人気のある企画をお楽しみください。

鶴ヶ丘祭 出展



Nobumiki YAMADERA

副会長

昭和 50 年卒業
山寺 信幹

秋の鶴ヶ丘祭には同窓会も毎年出展いたします。同窓会ブースでは現在の学校行事を記録したビデオの上映や、何年分もの卒業アルバムをご覧いただけます。茶菓や飲み物を用意してお待ちしていますので、ぜひお越しください。





▲ 大学時代の実習の様子を細かに話す田村さん。

ね。その時に頑張って勉強しなきゃいけないんだって気づいたんです。そこから目標が獣医として決まりましたね。これで内申が悪ければ推薦枠から外れてしまうので頑張りました。

—では、理系で印象に残っている授業はありますか？

田村 石井先生の授業かな。当時は怖かったけど今思うと良い先生だなんて。当てるときに今日はこの列だ、って言われてその日はドンドン問題に答えさせられるんです。だから先生の授業の前はみんな休み時間に勉強してました。

武内 僕は小津先生の授業ですね。黒板が早くて写すのが大変だったなあ。

—では次に、大学時代はどうですか？獣医学科って言われてもあまりピンと来ないんです。

田村 今は6年制ですけど私たちのときは学部4年、院で2年だったんですよ。で、6年行かないと国家試験受けられないですね。

—修士が終わって国家試験を受ける資格が貰えるんですね。では、実習とかはどういった感じだったのですか？

武内 色々ありますよ。微生物を顕微鏡で覗いたり。

田村 畜産系の解剖学を学んだり。

—どこでやるのですか？

武内 実習室ですね。馬などがホルマリン漬けになって冷凍されているやつを使うんです。

田村 何人かで1頭をやるんです。

—そういうのを大学入ってすぐやるのですか？

田村 3年、4年になってからですよ。

—初めてやられた時どうでしたか？

長く動物を飼ってほしい (田村)



武内 いやあ初めての解剖の後にご飯が食べられなかったですね。

—ですよ。田村さんは大丈夫だったのですか？

田村 私は全然平気だったんですよ。

—武内さんはお父様が獣医さんだったので見なれていたので？

武内 父のところでは生きていく動物ばかり見ていました。

—ではあまり学生時代には生きている動物のはやらなかったのですか？

田村 やりましたよ。内科とか外科とか手術の練習があります。

—他に印象に残っている授業とかはありましたか？

田村 牛のお尻に腕を入れて卵巣を触ってみるっていうのは凄く興味深かったですよ。

武内 腕が引き戻されるんですよ。

田村 あれは神秘の世界ですね。生命を感じました。

—なるほど。全く想像できないですね。いちばんつらかった授業は何ですか？

田村 微生物を覗いてそれを描かないといけないかったです。それが意外に酔っちゃって気持ち悪くなってしまいうんですよ。

武内 動いている微生物をリアルに細部まで描かないといけないからね。

田村 あとは授業ではないですけど、普通、大学4年生になるとある程度落ち着くと思いますが、獣医学科は6限まで授業があって、その後に研究室に遅くまでいななきゃいけないんです。

—いわゆるキャンパスライフ的なことは無かったわけですか？

武内 そうですね。バイトも1年、2年くらいまでですね。

田村 で、6年になると国家試験の勉強です。そこで受かれば病院で働けるんですよ。

—武内さんは国家資格とられてからすぐ麻布の病院に？

田村輝美 (たむらてるみ 旧姓:助川)
昭和57年卒業。日本大学農獣医学部獣医学科を経て獣医師に。現在は、川崎の動物病院に勤務。原宿生まれ。

田村輝美 × 武内雅道

「飼い主さんや動物が元気になるのは嬉しい」、「初めて動物を飼う人と話をして、ずっと飼ってもらえるとやりがいを感じる」こう語るのは共に 82 年卒の同級で獣医学科に進んだ武内雅道さんと田村輝美さん（旧姓：助川）。お二人は獣医師になり、現在も活躍されています。今回はお二人に高校・大学時代の思い出やエピソード、さらには獣医師を目指すと思ったきっかけなどについて、武内さんの病院におじゃましてお話を伺いました。

— まずはじめに、なぜ鶴ヶ丘に入ろうと思ったのですか？

武内 父が鶴ヶ丘の卒業生だったので受験しました。

— その頃から獣医になろうと？

武内 父も獣医だったので、何となく獣医もありかなとは思っていました。

田村 私も父が獣医だったんです。なので漠然と自分も獣医になるのかなとは思っていただけですね。受験の時、日大には農獣医学部もあるし、他にもいろいろな学部があって選択肢も多かったんで、鶴ヶ丘に入りました。

— という事は、高校入学段階から既に大学の事も視野に入っていたのですか？

田村 そうですね。ただ、実際



武内 雅道 (たけのうち まさみち)

昭和 57 年卒業。日本大学農獣医学部獣医学科を経て獣医師に。現在は、麻布で動物病院を開業。麻布生まれ。

に入学して担任の先生と話した時に獣医学科の推薦枠は 2 つしかないって言われて、シヨックを受けた記憶があります。

— 入らないとわからない情報ですものね。では、鶴ヶ丘時代の思い出ってありますか？

武内 軽音をやりましたね。鶴ヶ丘祭の後夜祭で演奏してすごく盛り上がった記憶があります。サザンの『いとしのエリー』をやりました。こんなに盛り上がるんだって感動しましたね。

田村 私ほとにかく人がたくさんいる事に最初は驚きました。公立の中学だったので同学年に知らない人がこんなにいるんだって。

— お二人はいつ頃から獣医学科に行こうと思われたのですか？

武内 僕は 3 年生です。獣医学科の推薦にぎりぎり漏れてし



動物に元気になってほしい (武内)

まって。獣医学科以外のところに行くか、一般入試で獣医学科に行くかってところだったんですが、ある時オジが「親父さんはお前が獣医になることを望んでるぞ」って教えてくれたんです。父は僕にそういうことを話す人じゃなかったから。それで獣医になろうと思ったんです。

— では日大の獣医学科に一般入試で行かれたのですか？

武内 そうですね。夏休み頃から意識があったので準備はしていましたから。ただ、それが功を奏して成績がすごく上がったんですよ。

— 凄いですね。田村さんは如何ですか？

田村 私は獣医になるのかなあとという感じで高校生活を送っていました。で、3 年生になった時、良い内申点を取らないと推薦が貰えないってわかったんです。



▲ 獣医師を目指すキッカケを思い返すように話す武内さん。

維持会費納付のお願い 同窓会創設50周年 寄付のお願い

同窓会は卒業生からの維持費用により運営されております。
ぜひともご理解をいただきご支援のほど、よろしくお願い致します。
(平成21年～25年卒の方は卒業時に5年分をお預かりしているため不要です。)

維持会費(年額): 3,000円

維持会費は年度ごとにお願ひしていますが、あくまでも会員各位のご好意をいただくものです。従って、納入されなくても、過去に遡って請求されるなどはございませんので、誤解のないようお願い申し上げます。

同窓会創設50周年記念事業の一環として寄付をお願いしています。
特に今期は母校の総合グラウンドの人工芝化などの改修にあわせて、同窓会から運動器具などの寄贈をおこないます。皆様からの寄付はその寄贈の原資といたします。ぜひ、後輩達が末永く利用する設備の寄贈にご協力をお願い申し上げます。

寄付(一口): 2,000円



維持会費・寄付のお申し込み方法

以下の振込先宛をお願いいたします。

銀行	ゆうちょ銀行(郵便局)
講座名義	日本大学鶴ヶ丘高等学校同窓会
口座番号	00150-4-613083

同窓会では皆様の思い出の品を探しています

鶴ヶ丘高校の制服、スクールバック、クラブバッジなど学生時代の思い出の品をお持ちでしたら、まずは同窓会までご連絡ください。

お借りした貴重な品は特集企画に使わせていただきます。
また、お品物は同窓会が責任をもってお預かりして、特別企画終了後は速やかに返却いたします。皆様のご連絡をお待ちしています。

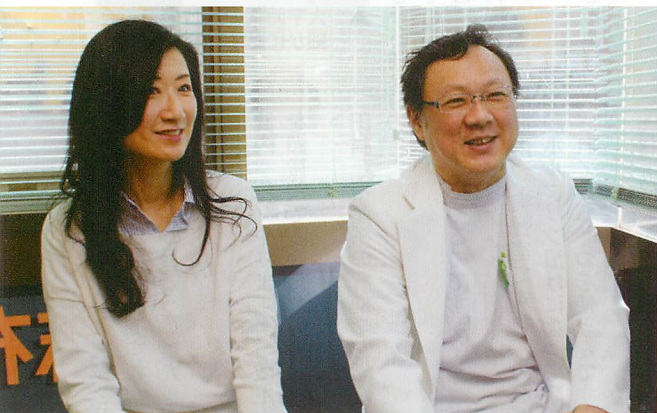
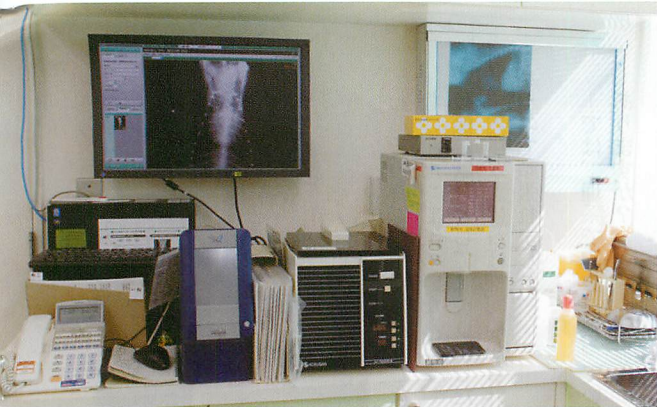


宛先: 〒168-0063 東京都杉並区和泉2-26-12
日本大学鶴ヶ丘高等学校内
同窓会事務局
メールアドレス: tsurugaoka@ntdosokai.org



※ 個人情報の取り扱いに関しまして

個人情報はプライバシーポリシーも設け、会長が委員長となる会員情報保護管理委員会で適切な運用をしています。
プライバシーポリシーの全文は下記のWebページをご参照ください。
<http://www.ntdosokai.org/html/pp.html>



▲▲ 院内の診察室
▲ 同級生という事もありリラックスした雰囲気のお二人
▶ 取材に伺った武内さんの動物病院



武内 いや、最初は神奈川の病院でした。すぐ大変でした。月に休みが2日くらいでしたから。家に帰るのが午前2時くらいでした。しかも朝8時には出勤でしたからね。でもその分学べる事も多かったです。

田村 実際に大学で学ぶ事で臨床に直で役に立つ事が少なかったんです。麻醉とかは習いますけどね。習った事はすぐ使えるわけではなかったたので、就職して教わって流れます。

—なるほど。田村さんは卒業されてどうされたのですか？

田村 私は父の病院に行きましたね。しばらくそこで働いていました。

—ありがとうございます。それでは最後にお二人にお伺いします。お二人にとって獣医師で良かったと思う事はなんですか？

武内 語弊があるかもしれませんが今の仕事は面白いです。困っている動物や飼い主さんが自分のアドバイスや治療で、元気になってくれたりするのは楽しいですよ。本当にそれが生き甲斐になっていますかね。本当に思いますね。生きる元気を与えているかなど。やっぱり成果が上がって患者さん飼い主さんに感謝してもらえたりすると嬉しいですね。

—武内さんでもまだ学ぶ事はたくさんあるのですか。

武内 それはずっとですよ。常に新しいものは増えていきますし。こういう街の獣医は助産から老衰まで診るようなところですからね。人間で言うくと産科婦人科、内科、外科、全部を診ていく。なおかつ動物が亡くなったときは飼い主さんのケアまでする。っていうことを考えるとやる事は多岐ですよ。全部を突き詰めるのは難しいけれども少しでも深められるようにしていきたいかなと思います。本当に学ぶ事はいっぱいありますよ。

田村 わたしもそうですね。人間と違って全科診療なので得意分野不得意分野なくすべて診ないといけないんです。私たちが獣医になった頃と比べて飼い主さんの意識がすごく変わってきて、最近では動物のことを深く理解しようとする方が増えてきたんです。ですからそういった人達と話をするのがとても楽しいですね。できれば動物に対する理解をもっと深めてもらったり接し方を見直してもらったりとか。あとは、初めて動物を飼われて何も知らない状態の飼い主さんには説明しなくて長い間飼ってもらえるようにしています。それが今はすごく楽しいし、やりがいを感じています。

—なるほど。これからも頑張ってください。今日はありがとうございます。

—まずは自己紹介をお願いします。

深澤 吹奏楽部部長の深澤みくです。プラスでフルートとピッコロを吹いています。

坂口 ブラスの坂口葵美です。ドラムメジャーを担当しています。楽器はトランペットです。

廣瀬 バトンチーフの廣瀬春奈です。バトンとボンボンで踊ります。

大野 カラーガードチーフの大野ほのかです。フラッグを扱っています。

—吹奏楽部の3つのパートについて教えてください。

深澤 ブラスは管楽器、打楽器を演奏しています。バトン、ガードとドリルスタージも行っています。

廣瀬 バトンは主にバトンを使って踊ります。また、学校での発表はチャダンスを中心にこなっています。

大野 ガードは旗を曲に合わせて振りまします。曲調はどちらかというとクラシックスが得意なパートです。

—部長とチーフの仕事を具体的に教えてください。

深澤 合奏や楽器ごとの練習はコンサートミストレスや学生指揮者が、マーチングはドラムメジャーがチーフとして動い

ているので、部長はその人たちの補佐をします。

—コンサートミストレスってどういうの？

深澤 音楽監督の補佐です。

—チーフの仕事はいかがでしょう。

坂口 私は前に立ってマーチングの指導をしています。パレードではメジャーバトンという指揮棒を使い先頭で指揮を振ります。

廣瀬 とにかく未経験者が多いので、少しでも形になるよう私は基礎を中心とした指導をしています。

大野 私はどうしたら皆が楽しく活動できるか考えながら指導をしています。

—年間の部活動を教えてください。

深澤 6月の定期演奏会に向けて1年間通して練習をしています。プラスは入学式、卒業式、鶴ヶ丘祭、12月のアンサンブルコンサートで演奏しています。また、1月の東京都のアンサンブルコンテストにも出場しています。

大野 定期演奏会や鶴ヶ丘祭ではガードもバトンも一緒にマーチングをします。

—一緒に活動することはどのくらいあるのですか？

廣瀬 学校行事は、ほとんど一緒です。

—部活で苦勞することは何ですか？

深澤 マーチングではプラス自体が楽器を演奏しながら歩くので大変です。動きを間違えると人が怪我をしたり、楽器を壊してしまう可能性もあります。

—その練習で気をつけている事はありますか？

坂口 ガードやバトンと一緒に合わせるときは特にぶつからないように注意しています。

—あのドラムメジャーの棒（メジャーバトン）は重いのですか？

坂口 ずっと振っていると重さでかなり辛くなります。

—次に顧問の先生について教えてください。先生方の存在ってやはり大きいのですか？

深澤 はい。私の場合、音楽監督の齋藤祐衣先生は相談に乗ってくださって、一緒に考えてくれるのでとても助かっています。

—大野さん廣瀬さんはいかがですか？

大野 チーフという立場上、辛くなつて関根先生に泣きついてしまった事は何度かあります。そのときはすぐ助かりました。

廣瀬 バトンもずっと関根先生に頼って

しまっています。女性の先生なので話しやすいです。

—なるほど。次に部活と勉強の両立はいかがでしょう？

深澤 正直、大変です。疲れて寝てしまふ事やテスト前後に行事などがあることも多いので勉強との両立は厳しいです。でも空いた時間を使って勉強できるように努力しています。

大野 チーフになってから時間が経ち、責任感が増すにつれて、部活と勉強の切り替えに慣れたような気がします。

坂口 私は部活に力を注いでしまうので勉強が疎かになりがちです。毎日少しずつ復習しようと頑張っています。

廣瀬 私も、どうしても部活中心になつてしまい両立することは大変ですが、机に向かう努力はしています。

—では、部活で一番のやりがいつて何ですか？

廣瀬 6月の定期演奏会ですね。皆ひとつになつてやっている感じがします。

大野 特に今回は自分たちの代ですし、命がけでやっています。

—時期的に新人生はどうですか？

深澤 ブラスの座演のステージでは、経験者であれば入る場合もあります。

吹奏楽部 座談会

コンクールへの出場だけではなく、入学式、卒業式、鶴ヶ丘祭での演奏や野球部の応援と鶴ヶ丘高校のイベントではとても重要な役割を担っている吹奏楽部。地域のパレードなどでも好評を得ている。

そもそも吹奏楽部はブラス、バトン、ガードの3つのパートで構成されている。同窓生の中には、同じ部活と違っていない方も多いのではないだろうか。そこで今回は吹奏楽部にスポットを当て、紹介することにした。練習で忙しい合間を縫って集まってくれたのは、部長をはじめバトンとガードパートそれぞれのチーフ、そしてマーチング指揮者であるドラムメジャーの現役生。

4人には吹奏楽部の活動の様子や部長やチーフとしての苦労、部内でのエピソード、さらには鶴ヶ丘高校に入学しようと思った理由から吹奏楽部を選んだ理由まで伺った。

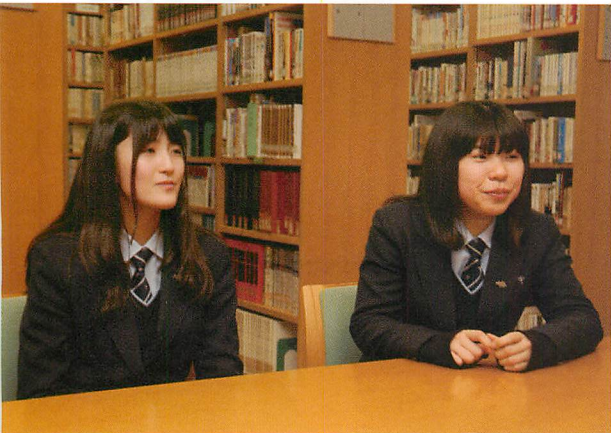
もちろん、彼女たちにとって最高の舞台といえる6月の定期演奏会についても語ってもらった。

そして、そこから見えてきたのは、勉強と部活の両立の大変さに耐えながらも演技演奏に懸ける強い思いであった。

同窓生には現役生の今を感じていただき、自分たちの青春時代を甘酸っぱくも懐かしく思い出してみてはいかがだろうか。



▲ ガードチーフの大野ほのかさん
 バトンチーフの廣瀬春奈さん ▲
 ▼ ドラムメジャーの坂口葵美さん(左)と
 吹奏楽部部長の深澤みくさん(右)



■ 第38回 定期演奏会より(2010年)

—坂口さんの目標は？

坂口 やはりドラムメジャーとして責任のある6月の定期演奏会ですね。今年も新たな試みもしていくので3部で成功させたいと思います。

—廣瀬さんはどうですか？

廣瀬 私も定期演奏会でプラスと協力しながらやっていきたいと思っています。バトンとガードだけが注目を浴びるような構成ではなく、全体が盛り上がるような舞台にしたいと思っています。

—大野さんはいかがですか？

大野 ガードも大会はあるのですが、まだ2回しか出ていなくて、これからそれを伝統にしていきたいと思っています。あとはやっぱり定期演奏会の成功ですね。そのためにチーフになったと言ってもいろいろなんです。この代の定期演奏会が一番良かったねって言ってもらえるようなものになりたいと思っています。

—すぐく楽しみですね。では最後にこの会報誌を読んでいる卒業生に6月の定期演奏会についてのメッセージをお願いします。

廣瀬 まだ定期演奏会を観たことが無いという先輩方にもぜひご来場いただき、もっと吹奏楽部を知ってほしいです。

深澤 プラスは楽曲的にも挑戦するプログラムにしますし、3部のドリルスター

ジでも今までは違う吹奏楽部が観られると思います。

坂口 いろいろなことにチャレンジしようとする意識が変わってきています。今までは違った良いものを創り上げていきたいという気持を多くの先輩方に知っていただきたいと思います。

大野 鶴ヶ丘の生徒で良かったなど、思っていただけのような定期演奏会にしたいと思っています。楽しんでいただけたら嬉しいです。

—6月15日を楽しみにしています。本日はありがとうございました。

吹奏楽部定期演奏会

開催日時 平成25年6月15日(土) 曜日

17時開場 17時30分開演

入場無料

開催場所 調布市グリーンホール

住所 東京都調布市小島町2-47-1

電話番号 042-481-7611

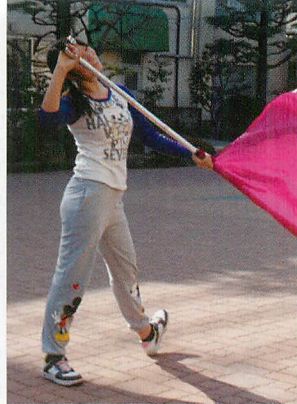
アクセス

京王線調布駅下車

駅から調布市グリーンホールまで

1 中央改札を出て南口出口へ

2 地上に上がり駅を背にして右手奥



▲ 部活動の様子 (ガード)

部活動の様子 (バトン) ▲

▼ 部活動の様子 (プラス)



— 廣瀬さん、大野さんは、なぜバトンとガードをやるうと思っただけですか？

廣瀬 私は元々踊るのが好きだったからです。

大野 私はクラシックバレエをやっていたので、ガードが自分に合っていると思っただけです。

— 坂口さんと深澤さんはなぜ、プラスバンドに？

坂口 中学校の吹奏楽部が厳しかったので最初はどうか迷っていたのですが入部しました。でもやっぱりちよつと厳しかったですけど(笑)

深澤 私はもう吹奏楽部しか考えていなかったです。高校選びも本気で吹奏楽をやっているところに入りたくて。鶴ヶ丘のHPで部活動紹介に「東京都の吹奏楽コンクールで金賞を目指しています」と書かれていたので入部しました。さらに文化祭の見学のとき雰囲気良かったので、それも決め手となりました。

— 大野さんはなぜ鶴ヶ丘に入られたのですか？

大野 生徒の挨拶がしっかりしていたのを見て、自分もああいうふうになりたいと思って入部しました。

— 坂口さんはどうですか？

坂口 見学に来たときに、伸び伸びとし

ていて、気に入りました。

— では、部活で印象に残っているエピソードはありますか？

廣瀬 バトンに関してはほとんど皆、初心者なので1年の夏休みに列を組んで足を上げるラインというのを徹底的に叩き込まれるのです。そのときに片足で3分間立っていたり、かなり辛かったです。

— ガードは何かありましたか？

大野 旗を空中に投げ上げ、全員が連続10回成功できるまで最初からやり直し、という課題をやりました。落としたり顔面蒼白というか、9回で落としてしまうと、皆の空気がちよつと悪くなってしまうんですよ。

深澤 プラスは音楽室で練習するときは良いんですけど、教室とか体育館で練習するときは、外に音が漏れないように窓を閉め切っていますから、倒れちゃう人も結構いるんです。

坂口 鶴ヶ丘祭で体育館で演奏するときには暑くて、演奏後に体調を崩す人が多いですね。

— 次に皆さんの目標について教えてください。

深澤 プラスでは8月の東京都の吹奏楽コンクールで金賞を目指しています。

沖縄宮廷料理を皆様へ

琉球料理 みやらび

創業昭和32年。沖縄伝統料理と創作料理のコラボレーション。沖縄の伝統と文化を守り創作する新しい琉球料理をお楽しみ下さい。77年卒旧姓 田辺。



住所：東京都千代田区九段南3-4-3
 営業：11:30～14:30(LO.14:00)
 17:30～23:00(LO.21:40)
 電話：03-3261-3453
 定休：土曜、日曜、祝日

JR中央・総武線ほか
市ヶ谷

ランチ(11:30～14:30)
 へもぜひお越し下さい

アンティーク調の食事処

渋谷 野川

のんべい横丁の真ん中。から揚げから新鮮なお刺身までレトロな雰囲気の中でお食事・お酒をお楽しみ下さい。ご来店お待ちしております。71年卒鈴木。



住所：東京都渋谷区渋谷1-25-10
 営業：17:30～23:00(LO.22:30)
 電話：03-3400-5894
 定休：土曜、日曜、祝日

JR山手線ほか
渋谷

名物オリジナルメニュー
 の「半月」をぜひ!!

こだわりの食材・お酒を!

まぐろ処

渋谷ののんべい横丁で店を構えて20数年毎日築地から仕入れる新鮮な魚介類をぜひ!! こだわりの食材の厳選メニューでお待ちしております。



住所：東京都渋谷区渋谷1-25-10
 営業：18:00～23:00
 電話：03-3486-0150
 定休：日曜・祝日

JR山手線ほか
渋谷

向かいの妹の店・おでん
 「なだー」もよろしく

しゃぶしゃぶ&ステーキ

八代井亭

80年卒アメフト部大橋です。ご家族友人と美味しいお肉をぜひお召し上がり下さい。コースから一品料理まで幅広いメニューでお待ちしております。



住所：東京都世田谷区池尻3-20-2
 営業：昼/火～金:11:30～14:00
 夜/17:00～23:00(LO.22:00)
 電話：03-3411-2911
 定休：月曜日

東急田園都市線
池尻大橋

平日(火曜～金曜)
 11:30～のランチもぜひ!!

路地裏の名店!! 神髓の味!!

麺屋 賢太郎

1980年卒森江です。幼少からラーメンマニアで、ついに俺流を完成!! 独学術で築き上げた俺流「神髓の味」をぜひお召し上がり下さい。



住所：東京都杉並区高円寺北3-22-7
 営業：18:00～25:00
 土/11:45～14:00
 電話：なし
 定休：月曜日

JR中央線
高円寺

昨秋テレビ東京でも
 紹介されました!!

カジュアルイタリアン

ジャカッセ

80年卒の志村です。那須ガーデンアウトレット内のパスタ&ピッツアのお店です。季節毎のパスタ・ピッツアをご用意しております。



住所：栃木県那須塩原市塩野崎184-7
 営業：11:00～19:00
 (但し季節による変更あり)
 電話：0287-74-2273
 定休：無休

東北自動車道
黒磯板室IC

ぜひ那須ガーデン
 アウトレットへ!!

スポーツ観戦のお帰りに!!

ジャマイカウドン

ウドンはウドンでもウドン屋ではなくダイニングバーです。メニューは和洋中と幅広くです。ランチも日替わりメニューでお待ちしております。78年卒岩上。



住所：東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-12
 営業：昼/11:00～14:00
 夜/18:30～24:00
 電話：050-5518-6894
 定休：不定休

JR中央・総武線
千駄ヶ谷

同期会等貸切パーティー
 にもご利用下さい。

おいしい魚が食べたい!!

黒潮田無店

昭和57年卒の中村秀樹が経営するナカムラ水産直営の居酒屋です。魚料理には自信あり! 当日築地仕入れの「選べる刺身盛り合わせ」をぜひお召し上がり下さい。



住所：東京都西東京市南町4-1-4
 営業：16:00～23:00
 電話：042-462-9640
 定休：無休

西武新宿線
田無南口駅前

「同窓会誌を見た」で…
 生中一掃サービス

同窓生のお店探訪

第三回 横浜



京急線日ノ出町駅を出てすぐの交差点を渡ると今回の同窓生のお店『Hysteric』はある。名前とは打って違って店内は白を基調としてとても明るく、透明感のある店作りだ。「人の数ほど髪質があるからただお客さんの求めているモノを形にするのは難しい。だからお客さんの好みと自分の描いている理想を擦り合せていくかを、カットの時には大事にしているんだ。」こう語ってくれるのは鈴木賢一さん（昭和59年卒業）。とても40代後半には思えない端正な容姿で、高校時代はヤンチャだった雰囲気は残しながらもこちらをリラクセスさせる物腰の柔らかい雰囲気をもった方だ。鈴木さんは「髪って、人の一番目立つ所にあるから凄く大事なところなんだよね。だからお客さんの理想の方向性に向かわせながらも一番お客さんがすてきになれる髪型にさせたいんだよね。」ということを髪をカットする際に心掛けていているという。なぜ鈴木さんは美容師を続けているのか。「お客さんに心からありがとう、って言ってもらえる仕事って本当に少ないと思う。その数少ないものの一つが美容師だと思うんだ。お客さんが満足いってくれて心からありがとうって言われた時

至 桜木町・馬車道



はこの仕事してて良かったって思うよ。」と笑顔で答えてくれた。同窓生のお店で髪をカットすることは、あまりないと思う。ぜひこの機会に訪れてみてはいかがだろうか。新しい自分を発見できるかもしれない。

美容室『Hysteric』

住 所…神奈川県横浜市中央区日ノ出町

1-16-1

AOKI BLDG 2F・3F

電 話…045-252-2224

定休日…毎週火曜日・第3水曜日

アクセス…

京浜急行電鉄 日ノ出町より徒歩1分

JR根岸線 桜木町より徒歩10分

みなとみらい線 馬車道より徒歩12分

東京都知事免許(10)第38022号
東京都知事宅地建物取引業協会会員
有限会社秀明商事

昭和34年卒業

代表取締役
取引主任者 **根岸 辰行**

東京都杉並区永福 4-32-7 シュウメイハイツ 101
TEL03-3325-9684 FAX03-3325-9687

NDD

社団法人 新地域研究機構

昭和48年卒業(3年A組)

会長 **石川 昌三**

東京都千代田区神田錦町 3-16 五十嵐ビル 5階
TEL03-3518-0105 FAX03-3518-0106
ishikawa@nddj.org

月島デンタルクリニック

昭和53年卒業

院長 **糸川 良輔**

診療所◎東京都中央区月島 2-15-16 清月ビル 2階
TEL03-3531-1165

山岸設計事務所

昭和53年卒業

山岸 祥一郎

神奈川県横浜市中区山手町 272-1-308
TEL045-211-0161 FAX045-211-0162

日本大学法曹会所属
高村法律事務所

昭和54年卒業(3年E組)

たかむら さだのり
弁護士 **高村 定憲**

“民事一般、倒産、クレジットサラ金、労働、不動産関係、
親族相続、会社関係、刑事事件、各種法律相談”

東京都杉並区荻窪 4-32-3 AK オギクボビル 5階 501号室
TEL03-3398-8880 FAX03-3398-8890

株式会社E Kプランニング

昭和55年卒業(3年H組)

阿部 栄介

〒201-0003
東京都狛江市和泉本町 1-1-16
TEL03-3489-6852 FAX03-3489-3328

株式会社 飯田

昭和55年卒業(3年F組)

代表取締役 **飯田 哲司**

本社◎東京都千代田区神田錦町 3-16 五十嵐ビル 5階
新宿オフィス◎新宿区歌舞伎町 2-40-5(歌舞伎町パーキング内)
TEL03-3518-6433 FAX03-3518-8299
jinhai@live.jp

しゃぶしゃぶ&ステーキ
八代井亭(やよいてい)

昭和55年卒業(3年D組)

代表 **大橋 隆治**

東京都世田谷区池尻 3-20-2 柳盛堂II B1F
TEL03-3411-2911
http://www.yayoitei.com/

美術
書籍製本 **矢嶋製本株式会社**

昭和55年卒業(3年G組)

代表取締役社長 **矢嶋 宏行**

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 1-4-5
TEL03-3291-4128 FAX03-3291-8917
E-Mail: yajima-seihon@k6.dion.ne.jp

三井住友海上火災保険株式会社 三井住友海上あいおい生命
ソニー生命保険株式会社

株式会社三光リンクホールディングス

昭和58年卒業

代表取締役 **小市 誠**

東京都渋谷区代々木 2-23-1 1166号
TEL03-5351-3500 FAX03-5351-3501

TOKYO MAIN DINING.

開放感のあるオープンキッチン。

毎週水、木、金曜日は生バンドによる Jazz 演奏のあるNYスタイルの店内で演奏を聴きながら「安心」「安全」な、こだわり野菜と旬の素材を贅沢に使ったお料理の数々とお料理にあったドリンクでお楽しみ下さい。



TOKYO MAIN DINING / 東京都渋谷区神南 1-12-13 渋谷シダックスビル 1F TEL.03.5428-5031

はぐくむ、大切なことのすべて

SHIDAX

セールスプロモーション・業務推進のベストパートナー ACCESS アクセス プログレス

販売促進・広告のご用命は企画立案・実施まで当社にお任せください。

イベントスペース「フォーラム施設」を渋谷・青山一丁目・大阪梅田の3ヶ所に用意しております。ぜひご利用ください。

東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー24階
TEL:03-5774-2310 FAX:03-5774-2311

事業所:大阪・名古屋



ワンストップにて、安心迅速に対応 ACCESS アクセス業務推進センター

-  オンデマンド印刷
-   発送・作業代行、データ管理
-  キャンペーン事務局代行
-  テレマ代行
-  管理・保管

(株)アクセスプログレス
全額出資

東京都世田谷区瀬田3-15-10 TEL:03-5797-5450



カクテル&カラオケバー LOXOR

新宿区歌舞伎町 1-2-7 星座館ビル 7F
(新宿区役所通り パセラさん正面の星座館ビル 7F)
TEL: 03-6457-3347
営業時間: 月~土、19:00 ~ 1:00

学校を「探す」から、「見つかる」サイトへ。

大学受験・専門学校情報のポータルサイト

進学ラボ

ACCESS アクセスリード

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー 24階
TEL.03-5774-2330(代) FAX.03-5774-2339

【東京本社・北海道支社・仙台連絡事務所・中部支社・関西支社・中国支社・九州支社】

2013 鶴ヶ丘祭 開催のお知らせ

開催日: 2013年9月14日(土)・15日(日)

(開催時間はホームページでご案内します。)

今年も鶴ヶ丘祭に同窓会として出展予定です。ぜひ、皆様お誘い合わせの上お越しください。

- 開催内容
- ・学校行事などのビデオ上映
 - ・卒業アルバムの閲覧
 - ・お茶菓子等をご用意してお待ちしています



同窓会ホームページのお知らせ



同窓会公式ホームページ

<http://www.ntdosokai.org>

同窓会のイベントや活動報告を掲載しています。年間スケジュールや会則をはじめ、同窓会の情報と、イベント開催時の写真なども豊富です。ぜひご覧ください！

- ・会報誌(電子版)
- ・イベント情報
- ・ニュース
- ・母校のニュースへのリンク
- ・母校クラブ活動へのリンク
- ・アーカイブ
- ・鶴ヶ丘祭のお知らせ
- ・総会懇親会のお知らせ
- ・年間行事予定
- ・役員一覧
- ・同窓会会則
- ・プライバシーポリシー

同窓会 Facebook ページ

<http://www.facebook.com/NTH.Dousoukai>

Facebookにも同窓会の公式ページがあります。

こちらのサイトでは、同窓会活動をリアルタイムで掲載中！同窓生のお店紹介など、幅広い広報活動をしています。

同窓会 Facebook ページ "IZUMI"

本年4月からスタートした、同窓生参加型の Facebook ページです。こちらのサイトでは、同窓生からのメッセージを中心に掲載しています。

(同窓会 Facebook ページからリンクしています。)



日本大学鶴ヶ丘高等学校 同窓会

発行人: 阿部 栄介
編集: 会報誌制作委員会

Mail: tsurugaoka@ntdosokai.org
URL: <http://www.ntdosokai.org>